



2018年「12・13南京・平和のための国際交流」開催!



2018年12月10日～14日、本部・徳野副委員長を団長に12名の組合員が参加しました。南京大虐殺81年の国家追悼式典に参列し、犠牲になられた方々へ黙祷し、哀悼の意を捧げました。

式典前日には、南京大虐殺記念館主催の夕食会にもJR東労組の代表者が招待され、国内外の様々な方と交流することができました。

また、慰安婦をテーマとした記念館の利濟巷慰安所旧跡陳列館を見学し、慰安婦が制度化されていた歴史事実を目の当たりにしました。

総括会議では、「現地に立ち肌で感じることの重要性」や「平和研修をこれからも続けていくべき」と意見が出され、JR東労組がこの間続けてきた平和研修の重みや現地でサポートしてくれている人たちの支えがあって実現できている研修であると実感することができた研修となりました。



▲利濟巷慰安所旧跡陳列館。建物の修復、展示をおこない、2015年開館。外国籍の慰安婦被害者が現地で慰安所であったと確認した。



◀生存者の石秀英さん(93歳)。南京市内は火の海となり、父親や兄弟が亡くなり、苦しい生活を続けてこられた貴重な体験を話して頂きました。



▲日本軍によって虐殺された多くの犠牲者の血で赤く染まった長江を見学。

仲間と共に現地に立ち、平和の大切さを広げよう!